

## 事業報告書

本年度は各事業が滞りなく行なわれるよう基本的な事業を中心に組み組んで参りました。

研究助成事業は、サウンド技術振興部門に51件の応募がありその中から10件、また音楽振興部門は20件の応募がありその中から4件に助成金を交付致しました。

音楽普及支援等事業は音楽普及を目的にピアノ演奏家を招聘して演奏と特別レッスンを開催致しました。

講演会等事業は、研究助成テーマから8件を選んで講演会を開催致しました。

機関誌「サウンド」は第32号を発刊し、本年度助成受賞者から6名の方々に執筆を頂くと共に、今日までの助成研究テーマ等を掲載して広報に努めております。調査研究事業はサウンド技術と音楽に関する技術調査を行いました。

以下、事業経過の概況をご報告申し上げます。

### 1. 研究助成事業

#### 1) 平成28年度研究助成

平成27年12月より平成28年2月29日までを期間とし、全国の国公立大学、私立大学等の研究機関及び過去の助成申請者等700件余へ機関誌「サウンド」第31号と助成案内を送付して募集活動を行なうとともに、音響学会誌、電子情報通信学会誌等及び財団ホームページを通じて広報に努めた。

その結果サウンド技術振興部門は40の大学等研究機関より51件の応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月11日開催の審査委員会にて10件を選定した。音楽振興部門は18の大学等研究機関より20件の応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月12日開催の審査委員会にて4件を選定した。

理事長にこれを報告し承認を得て、平成28年6月16日東京ガーデンパレスにおいて助成金贈呈式を行なった。

助成受賞者は次の通りである。(所属・役職 は申請当時、応募受付順)

【サウンド技術振興部門】

- (1) ピアノアクションにおける摩擦に及ぼす材質と湿度の影響  
マレーシア工科大学 マレーシア日本国際工科院  
教授 福田 応夫
- (2) 粉粒体中を伝わる音のダイナミクスの解明  
東北大学 原子分子材料科学高等研究機構  
助教 齊藤 国靖
- (3) 骨導聴覚を利用した初期老人性難聴のメカニズム解明と簡易的な検査手法の検討  
九州大学大学院 システム情報科学研究院情報学部門 認知科学研究室  
特任助教 伊藤 一仁
- (4) 音程感覚の習得とより良い歌唱体験の補助  
会津大学 コンピュータ芸術学講座  
准教授 ジュリアン ヴィジェガス
- (5) ヒト生体における鼓膜・耳小骨の振動測定と医療への応用  
鳥取大学 医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科  
助教 國本 泰臣
- (6) 聴覚フィードバックに着目した歌唱訓練システムの構築  
広島市立大学 情報科学研究科  
博士後期課程 飯島 聡志
- (7) 遮蔽性能を考慮したスピーチプライバシーの評価に関する研究  
東京大学 生産技術研究院  
特任助教 李 孝珍
- (8) 生伴奏による身体表現変容の可能性～動作特性の検討から～  
お茶の水女子大学大学院 基幹研究院 人文科学系  
准教授 水村 真由美
- (9) 歌唱における歌い手のフォルマントの安定性～音高と母音の変化における歌声のスペクトル分析と喉頭音源の観察～  
京都市立芸術大学 音楽学部  
教授 津崎 実
- (10) 筋活動の視覚フィードバックによるトランペット練習支援に関する研究  
筑波大学 図書館情報メディア系  
特任助教 松原 正樹

## 【音楽振興部門】

- (1) 名古屋芸術大学サウンドメディアコースとベルリン芸術トーンマイスターコースにおけるマイクアレンジ比較音源の開発

名古屋芸術大学音楽学部 音楽文化創造学科  
准教授 長江 和哉

- (2) ピアノロールの計量的解析によるルバート 奏法分析

福岡県立大学 人間社会学部  
講師 鷺野 彰子

- (3) 北タイにおける音律について-ジャウ・ストーンによる音律の設定をめぐって-

東京藝術大学 音楽学部 学理科  
教育研究助手 宮内 基弥

- (4) 《貝殻節》継承のためのデータベース化と教材開発

鳥取大学 地域学部  
准教授 鈴木 慎一郎

## 2) 助成研究成果報告概要の配信

平成27年度助成受賞者からの助成研究結果報告をとりまとめ、財団ホームページから配信した。

## 3) 平成29年度研究助成募集活動

平成28年12月より平成29年2月28日を締切日とし国公立大学及び主な私立大学のほか過去の助成申請者等に対して募集活動を実施した。

## 2. 音楽普及支援等事業

### 1) 第6回音楽普及支援等事業

音楽普及を目的にピアノ演奏家を招聘し、若手ピアノ演奏家を対象にピアノ演奏 レッスンを開催した。財団ホームページを通じ広報と募集を行い、受講枠が全て埋まった。概要は以下の通りである。

名 称	ヴォイチェフ・シュヴィタワ教授 ピアノ演奏 特別レッスン
開催日	平成28年8月3日、4日
会 場	カワイ表参道 3階 スタジオ A
講 師	ヴォイチェフ・シュヴィタワ
受講枠	10 (受講者10名)
受講費	無料

## 2) 第7回音楽普及支援等事業

音楽普及を目的にピアノ演奏家を招聘し、若手ピアノ演奏家を対象にピアノ演奏レッスンを開催した。財団ホームページを通じ広報と募集を行い、受講枠が全て埋まった。概要は以下の通りである。

名 称 ガリーナ・チスチャコヴァ ピアノ演奏 特別レッスン  
開催日 平成28年10月15日、17日  
会 場 カワイ表参道 3階 スタジオA  
講 師 ガリーナ・チスチャコヴァ  
受講枠 10 (受講者10名)  
受講費 無料

## 3. 講演会等事業

### 1) 研究助成受賞者講演会(第30回研究助成講演会)

開催日 平成28年10月18日(火)  
会 場 カワイ表参道 2階 パウゼ  
聴講者 30名  
受講費 無料  
後 援 経済産業省  
演 題 研究助成テーマより (講演順)

#### 【音楽振興部門】平成24年度研究助成テーマ

シンガポールの南音：担い手たち、音楽の伝承とそれに関わる海外ネットワーク

＞東アジアから東南アジアに広がる音楽活動のネットワークと各国における音楽の価値

大正大学 文学部 人文学科  
准教授 伏木 香織

#### 【音楽振興部門】平成27年度研究助成テーマ

幼稚園・保育園・家庭において幼児が親しんでいる音楽の分析  
-童謡・唱歌離れ現象をめぐって-

筑波大学 医学医療系  
准教授 水野 智美

#### 【サウンド技術振興部門】平成24年度研究助成テーマ

ヒト聴覚の時間、空間、音声の認識に共通する無音の役割

九州大学 システム情報科学研究院  
教授 森 周司

2) 研究助成受賞者講演会(第31回研究助成講演会)

期 日 平成29年1月12日(木)

会 場 アクトシティ浜松研修交流センター 6階 62研修交流室

聴講者 50名

受講費 無料

後 援 経済産業省、浜松市、浜松商工会議所

演 題 研究助成テーマより(講演順)

【音楽振興部門】平成28年度研究助成テーマ

名古屋芸術大学サウンドメディアコースとベルリン芸術トーンマイスターコースにおけるマイクアレンジ比較音源の開発

名古屋芸術大学音楽学部 音楽文化創造学科  
准教授 長江 和哉

【サウンド技術振興部門】平成25年度研究助成テーマ

感圧塗料を用いた音圧分布計測技術の開発

名古屋大学大学院 工学研究科  
助教 松田 佑

【サウンド技術振興部門】平成24年度研究助成テーマ

複数送受音素子を用いた位相干渉に基づく音響イメージングによるロボットセンサの開発

立命館大学 情報理工学部  
助教 中山 雅人

【サウンド技術振興部門】平成27年度研究助成テーマ

歯骨伝導に着目した音響特性の聴取と取得

早稲田大学 基幹理工学部 表現工学科  
教授 及川 靖広

【音楽振興部門】平成24年度研究助成テーマ

日本電子音楽の特質 ～60年の歴史検証を通じて～

東京藝術大学 音楽学部 音楽環境創造科  
教授 西岡 龍彦

4. 情報の提供等事業

平成28年度研究助成受賞者である九州大学特任助教 伊藤一仁氏、会津大学准教授 ジュリアン ヴィジェガス氏、鳥取大学助教 國本 泰臣氏、広島市立大学 飯島 聡志氏、福岡県立大学准教授 鷺野 彰子氏、鳥取大学准教授 鈴木 慎一郎氏から執筆を頂き、機関誌「サウンド」第32号を編集し平成29年1月発行。大学等関係機関、国立国会図書館、過去の助成申請者等650件余へ配布した。

## 5. 調査研究事業

発音素材、及び試聴感に関する技術調査研究を実施した。

## 6. 評議員会・理事会等の開催

### 1) 第14回理事会

#### (1) 期日及び場所

平成28年5月17日(火) カワイ表参道

#### (2) 附議事項

第1号議案 平成27年度事業報告(案)・収支計算(案)の承認に関する件

第2号議案 平成28年度収支予算の修正に関する件

第3号議案 評議員会招集に関する件

第4号議案 議事録署名人の選任に関する件

#### (3) 議事進行要約

①第1号から第3号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第4号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 村上 二郎氏 鷺津 有一氏 (50音順)

### 2) 定款第35条に基づく決議提案 (第15回理事会)

#### (1) 提案

第1号議案 河合楽器株主議決権行使承認の件

#### (2) 結果

第1号議案 河合楽器株主議決権行使承認の件は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、平成28年6月20日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案は可決されたとみなされた。

### 3) 第16回理事会

#### (1) 期日及び場所

平成29年3月15日(水) カワイ表参道

#### (2) 附議事項

第1号議案 平成29年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認に関する件

第2号議案 議事録署名人の選任に関する件

#### (3) 議事進行要約

①第1号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第2号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 村上 二郎氏 鷺津 有一氏 (50音順)

#### 4) 第6回評議員会

##### (1) 期日及び場所

平成28年6月16日(木) 東京ガーデンパレス

##### (2) 附議事項

第1号議案 平成27年度事業報告(案)・収支計算報告(案)の承認に関する件

第2号議案 平成28年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認に関する件

第3号議案 議事録署名人の選任に関する件

##### (3) 議事進行要約

①第1号、第2号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第3号議案については、議長が提案を行い、異議なく全会一致で選任され、両評議員もこれを了承された。

議事録署名人 安藤 繁氏 小島 康壽氏 (50音順)

なお、この折り平成28年度研究助成金の贈呈式を併催した。

## 7. 庶務事項

### 1) 内閣府への提出書類

平成28年6月25日、公益目的支出計画実施報告書等の提出に係る申請書類のうち、次のものを電子申請により提出した。

- ①実施事業(公益目的事業)の状況等
- ②公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて
- ③当該事業年度の貸借対照表及び附属明細書
- ④当該事業年度の損益計算書及び附属明細書
- ⑤当該事業年度の事業報告及び附属明細書
- ⑥当該事業年度の監査報告、会計監査報告
- ⑦当該事業年度の公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告
- ⑧当該事業年度の正味財産増減計算書内訳表

### 2) その他

寄附金として、平成29年2月9日に株式会社木伏電気工業所より2万円を受理した。